



版画家による版画技法を間近で体験 高校生向け多色木版画ワークショップを開催します

要 旨

本市ゆかりの版画家山口源の顕彰事業の一環として、「山口源新人賞」の受賞経験のある作家を講師に迎え、校内風景を題材にした高校生向けの「多色木版画ワークショップ」を開催します。

本ワークショップは、芸術分野を志す高校生に対し、版画家の技法を体験する機会の提供や作品鑑賞を通じ、版画表現の可能性、楽しさを喚起し版画芸術の裾野を広げることを目的としています。

概 要

1. 日 時 令和6年6月20日(木)、7月4日(木)
11:45~15:10(昼休憩 12:35~13:20)
2. 会 場 静岡県立沼津西高等学校
3. 参加者 静岡県立沼津西高等学校 芸術科 1年生 23名
4. 講 師 濱田 路子 (はまだ みちこ)
(平成26年度 第32回 山口源新人賞受賞)
5. 概 要 本市で半生を過ごした版画家山口源(1896-1976)の顕彰事業として、山口源新人賞受賞の版画家を講師に招き、版画技法の知識や経験、楽しさを伝え、あわせて、令和8年には山口源没後50年にあたるため、版画芸術の普及を図り、版画家山口源の関心に結び付けることを目的にワークショップを開催しています。

お問い合わせ先

沼津市役所 教育委員会事務局 文化振興課
直通：055-934-4812

○「山口源」(やまぐち げん) 1896-1976

1896年生まれ。本名は山口源吾。

1944年に沼津市江浦に疎開、以来亡くなるまで江浦で制作活動が続ける。

戦後は日本の抽象木版画の先駆者の一人として活躍し、1958年スイス・ルガノ国際版画ビエンナーレで「能役者」が日本人初のグランプリを受賞。

沼津市民文化センター小ホール緞帳には「能役者」の絵柄が使われています。

沼津市庄司美術館(モンミュゼ沼津)では、没後、遺族から市に寄贈された遺品、遺作が収蔵・展示されています。

○山口源賞について

昭和58年の沼津市制60周年を契機として、山口源の偉業を顕彰するとともに、市民の芸術文化の向上、発展に資するため、国内版画界において優れた業績を挙げた作家及び将来有望な作家の作品に対して「山口源賞」を制定し、授与しています。

「山口源賞」は「大賞」と「新人賞」からなり、「大賞」は賞の授与に相応しいと判断された国内の優れた作家(作品)に対して授与し、平成27年度までに17名に授与されました。

「新人賞」は一般社団法人日本版画協会に選考を依頼し、同協会主催の版画展への出品作品から、将来性の認められる1作品(平成3年度から平成28年度までは2作品)に対して毎年授与しており、令和4年度までに64名・65作品に授与しています。(令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、山口源新人賞の選考は中止となりました。)



平成26年度 第32回山口源新人賞受賞

濱田 路子 「WFH (ダブルエフエイチ)」

木版 / 土佐和紙 水性木版に手彩 91×160cm